

募集

～教育の質的転換を目指すICT利用～

2019年度 ICT利用による教育改善研究発表会 開催要項

この発表会は、全国の国公私立大学・短期大学教職員を対象に、教育改善のためのICT利用によるFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動の振興普及を促進・奨励し、その成果の公表を通じて大学教育の質的向上をはかることを目的として、平成5年より実施しています。最も優れた発表に対しては文部科学大臣賞を、またこれに次いで優れた発表に対しては協会賞を授与し、その教育業績を顕彰します。

大学・短期大学では、アクティブ・ラーニングによる教育方法の改善、学修成果の測定と可視化など、個々の教員はもとより組織としてのFDへの取り組みが課題となっています。

この発表会は、今後の教育活動に示唆を与えるものですので、大学教職員の皆様におかれましては発表会の重要性をお考えいただき、ぜひご参加ください。

日時：令和元年8月9日（金）10：00～16：50

場所：東京理科大学 森戸記念館（地図は別ページ参照）詳細は、当日会場にてご確認ください。

東京都新宿区神楽坂 4-2-2

JR「飯田橋」西口／東京メトロ「飯田橋」B3出口下車 徒歩6分、都営大江戸線「牛込神楽坂」A3出口下車 徒歩3分

主催：公益社団法人 私立大学情報教育協会

後援：文部科学省（予定）

【本発表会のねらい】

教員個人や大学・学部等組織レベルでのICTを利用した教育改善の取り組みと効果を公表することで、アクティブ・ラーニングによる教育方法の改善、学修成果の測定と可視化など、教育の質的転換に向けた課題の解決策を示唆することを目指しております。

参加対象 国公私立大学・短期大学の教職員、賛助会員

参加費 加盟大学・短期大学、賛助会員： 8,500円（税込）

非加盟大学・短期大学： 17,000円（税込）

*発表者の参加費は不要です。発表要項をご覧ください。<http://www.juce.jp/LINK/houhou/19houhou/19junbi.htm>

*当協会加盟校は右サイトで確認ください。<http://www.juce.jp/LINK/kaiin/univ2.htm>

加盟校の参加者には、当日の発表スライド（許可が得られたもの）を後日閲覧できるようにします。

申込方法 **Webからの申込み**

下記Webの「参加申込み」ボタンを押し、画面表示に従って入力、送信下さい。

<http://www.juce.jp/LINK/houhou/19houhou/>

FAXでの申込み

別紙の申込用紙に記入の上、送付下さい。 **FAX: 03-3261-5473**

*申込内容で当協会が取得する個人情報は、下記の目的により利用します。

「大学名、氏名、所属（学部、部署）」は、当日配布する資料（冊子）に参加者名簿として掲載します。「電子メールアドレス」は、今後の事業案内の連絡先情報として利用します。

申込締切 令和元年8月3日（土）

参加費振込 できるだけ8月2日（金）までにお振込み下さい。

一括申込みの場合：振込依頼人名には、大学名の他にキャンパス名または部署名を入れて下さい。

個人申込みの場合：参加費の振り込み依頼人名には、大学名と氏名の両方を必ず入れて下さい。

振込先 りそな銀行市ヶ谷支店 普通預金 0054409 名義人 私情協

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4F TEL:03-3261-2798

*振込手数料は申込者各自で負担願います。

*8月2日（金）までのキャンセルは、参加費から振込手数料を差し引いた金額を返金します。それ以降のキャンセルは、資料代（送料含む）、振込手数料を請求させていただきます、後日資料を郵送いたします。予めご了承下さい。

送付・問い合わせ先 公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局 E-mail: info@juce.jp（問い合わせ用）

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4F TEL : 03-3261-2798 / FAX : 03-3261-5473

2019年度ICT利用による教育改善研究発表会発表一覧(46件)

- *発表は森戸記念館内の3会場に分かれて行います。
- *各会場は当日の案内表示にて確認ください。
- *研究発表者名は発表代表者を掲載しています。
- *研究発表者のやむを得ない事由により発表中止となる場合があります。

(敬称略)

時間	発表番号	発表題目	研究発表者	大学名	
A 人文学・社会科学・その他 幼児・初中等・芸術・地域	10:00	A-1	ICTを使用した卒業論文執筆指導の実践	野呂 有子 日本大学	
	10:20	A-2	タブレット端末を用いた双方向教育による学生同士の多様性理解と相互的学びへの展開	土屋 衛治郎 立正大学	
	10:40	A-3	TV会議システムを利用した体験授業の試み	岡野 健 国際基督教大学	
	11:00	休憩			
	11:10	A-4	反転授業による必修科目での学修効果改善	児玉 俊介 東洋大学	
	11:30	A-5	大学初年次におけるリーダーシップ教育の効果性検証と授業改善	田中 聡 立教大学	
	11:50	A-6	ソーシャル・デザイン教育におけるPV制作を通じたPBLと協調学修の成果	飯沼 瑞穂 東京工科大学	
	12:10	休憩			
	13:10	A-7	発表中止		
	13:30	A-8	初等会計科目における反転授業の教育効果—WEBテストの活用—	木本 圭一 関西学院大学	
	13:50	A-9	課題発表におけるインタラクティブプレゼンテーションの汎用的手法の確立	大野 司郎 近畿大学	
	14:10	休憩			
	14:20	A-10	キャリア意識を向上させるオンライン高大連携—Zoomでインタビューの意義—	筒井 洋一 成安造形大学	
	14:40	A-11	LMSを用いたニュース時事能力検定合格を目指した事前・事後学修サポートの分析	栢尾 真一 追手門学院大学	
	15:00	A-12	ICTを活用した大人数講義における多方向型アクティブラーニング	家島 明彦 大阪大学	
	15:20	休憩			
15:30	A-13	ICTを活用した課題による、長期学外学修授業における学生の成長促進への試み	宮崎 雄基 武蔵野大学		
15:50	A-14	学芸員養成課程におけるオンライン学習教材を活用した反転授業の効果検証	緒方 泉 九州産業大学		
16:10	A-15	学習成果の可視化と学生の学習の振り返りを促進するweb授業アンケート	須長 一幸 福岡大学		
16:30	A-16	STEM教育におけるクラウドコンテンツ導入による学修改善	田中 忠芳 金沢工業大学		
B 理学・工学・農学・生活家政・医療	10:00	B-1	工学教育における科学の利用と生涯学習能力	小林 志好 東京都市大学	
	10:20	B-2	実習におけるマネジメントサイクルの理解と実践能力の修得を目的としたLMSの活用	松月 弘恵 日本女子大学	
	10:40	B-3	LMSを活用した大学卒業生組織との連携ゼミナール授業	小池 裕也 明治大学	
	11:00	休憩			
	11:10	B-4	図学への反転授業の適用とその効果およびアクティブ・ラーニングに向けた提言	森 一俊 帝京大学	
	11:30	B-5	Eラーニング課題を導入した全学必修科学技術者倫理教育	柘内 文彦 金沢工業大学	
	11:50	B-6	学生実験におけるレポート作成技術向上を目指した総括的システムの構築	遠藤 拓 日本大学	
	12:10	休憩			
	13:10	B-7	チームによるムービー製作過程が分析機器の原理の理解度向上に及ぼす影響	清水 秀信 神奈川工科大学	
	13:30	B-8	LMS活用による反転学習・事前事後学習を導入した獣医生理学実習教育	松井 久実 麻布大学	
	13:50	B-9	体験型サイバーセキュリティ演習システムを用いた人材育成の取り組みと成果	齋藤 孝道 明治大学	
	14:10	休憩			
	14:20	B-10	LMSを用いた理系文章作成能力向上のためのPDCAサイクル構築の試み	金山 知俊 南山大学	
	14:40	B-11	診療参加型臨床実習のための臨床教育支援ICTシステムの開発と運用	安倍 博 福井大学	
	15:00	B-12	ICTを活用した多職種連携PBL：課題作成型創造的PBLの取り組み	藤倉 輝道 日本医科大学	
	15:20	休憩			
15:30	B-13	学修成果と相対順位の可視化による学生個々人の自己省察と学生同士の切磋琢磨の促進	杉山 明子 朝日大学		
15:50	B-14	ICTを活用した物理化学の反転授業による学習パフォーマンスの向上	宮本 秀一 崇城大学		
16:10	B-15	クラウド活用による同僚間アンケート調査を取り入れた問題発見課題解決型協働学修	西牧 可織 北海道医療大学		
C 初年次教育・情報基礎・情報専門・語学	10:00	C-1	クラウド型のグラフィカルサマリーを活用した授業時間外の自律的能動的学修の促進	中村 太戯留 武蔵野大学	
	10:20	C-2	情報系学部におけるBYOD利用の試み	飯尾 淳 中央大学	
	10:40	C-3	LMSによるプログラミング教育のための事前・事後学修支援と双方向型授業	亀田 裕介 東京理科大学	
	11:00	休憩			
	11:10	C-4	ユーザビリティの高い資格試験対策サイトの構築	永江 貴子 拓殖大学	
	11:30	C-5	課題解決型中国語教材のICT活用による教育効果—PBLでのSDGsを題材にして	山田 留里子 関東学院大学	
	11:50	C-6	演習の活性化を目的とした演習支援システムの開発	神屋 郁子 九州産業大学	
	12:10	休憩			
	13:10	C-7	ビデオによるライティングの添削指導：ICTで一斉指導でも個別指導を実現できる！	佐藤 剛 弘前大学	
	13:30	C-8	初修中国語ブレンディッドラーニングのためのスマートフォン利用復習システムの構築	趙 秀敏 東北大学	
	13:50	C-9	VR(仮想現実)画像を使った中国語教育の試み	小渡 悟 沖縄国際大学	
	14:10	休憩			
	14:20	C-10	IT教室の特性と音声認識ソフトを活かしたリスニング・スピーキング活動の可視化	中西 のりこ 神戸学院大学	
	14:40	C-11	ICTを活用した主体的な英語コミュニケーション力の向上をはかる	高橋 加寿子 東北福祉大学	
	15:00	C-12	初年次英語科目における反転授業の効果測定—学修習慣の観点から—	井上 聡 環太平洋大学	
	15:20	休憩			
15:30	C-13	数理科目における反転授業のための授業ビデオ配信とその教育効果	西 誠 金沢工業大学		
15:50	C-14	LMSを活用した新たな読書法と質問づくりの実践とその応用	大塚 正人 摂南大学		
16:10	C-15	数理的記述式、自動採点方式、かつ反復受験に対応したオンラインテストの実践	亀田 真澄 山陽小野田市立山口東京理科大学		
16:30	C-16	学習活動を支える研究倫理教育:大学初年次で導入するeラーニングコンテンツの可能性	善積 実希 大阪女学院大学		